

英語文化学院 あすなろ

ニュースレター

Contents

もくじ

- ・学院長からのメッセージ ……P2
- ・プラハのピアニスト、ウラニアさんとあすなろ学院生との交流 ……P3・4
- ・火曜コラムのご紹介 ……P5
- ・レッスンコースから PICK UP!
小学生文法プレ・TOIEC・限定会話レッスン
卒業生による教科個別指導 ……P6・7・8
- ・オンラインあれこれ ……P7

2020年1月～

今年、あすなろでは
こんなことがありました。

2月

今年新入学の「中学1年生入学前準備コース」が満席で始まりました。

2月下旬

新型コロナウイルスの影響がじわじわと……あすなろは、ただちにオンラインレッスンに切り替えました。生徒さん並びに保護者の皆様のご協力に感謝いたします。

3月

予定していたスピーチ大会が中止に……

4月

ニュースレターをホームページにて発信開始。

4月～5月

新型コロナウイルス感染拡大防止のため政府の緊急事態宣言を受け、あすなろの全クラスをオンラインレッスン体制のまま新年度をむかえました。

5月

学院長のコラム「心に最高の栄養を！だまされたと思って聴いてごらんささい！」が始まりました。

6月

プラハのピアニスト、ウラニアさんとあすなろ学院生の交流が始まりました。ニュースレター HP 版にコラム「現役ビジネスマンからの手紙」を連載開始。「小学生文法だけプレコース」開講。文法プラス会話「大人のための英会話」月曜夜コースを開講。

7月下旬

教室を閉鎖。オンラインレッスンのみに。

8月

「TOEIC ビギナーコース」月曜午後クラスを開講。ニュースレター HP 版にコラム「現役エンジニアからの手紙」を連載開始。

9月

万全のコロナ感染防止対策のもと、ようやく教室でのレッスンを再開。

10月

来年2月～の「中学1年生入学前準備コース」の受付開始。

12月

「あすなろ卒業生による個別指導」（教科別）の受付開始。「冬期英検対策コース」（オンライン）の受付開始。



オンラインレッスンの導入で、どこからでも受講が可能に。コロナ禍でも学習は継続！



ウイルス感染防止対策を実施。検温、換気、手指消毒液の設置、清掃、備品の消毒など。



教室にはパーテーションを設置しているため、会話レッスンも安心です。



🎵 学院長からのメッセージ

お伝えしたいこと

学院生、並びに保護者の皆様

木枯しと共に年の瀬も押し迫り、何かと気忙しい季節となりました。今年は年明けからコロナ禍に翻弄され、社会も日常も大きく変わりました。あすなるでも3月を待たずにオンライン授業に切り替え、皆様のご協力のお陰様で、学習の機会を失うことなく秋学期に突入致しました。8月には、小学校～高校が夏休みを返上し授業を行うことを受け、猛烈な暑さの中マスク着用で窓を開放しながらの受講の負担を鑑みて、再びオンラインにて皆さんと学びの時を共有いたしました。9月からは月曜日～水曜日は教室にての授業を再開、金曜日は生徒さん全員のご希望を受けオンライン授業を続行、土曜日にも現在のところオンラインです。

しかしながら月曜日～水曜日に在学生のほぼ全員と直接顔を合わせることが出来ますので授業は滞りなく進んでおります。また、遠方に引っ越された生徒さんがあすなるにて学習を続行されており、最初からオンライン授業をご希望の新規の生徒さんも数名増えました。台風などの警報が発令されました場合も休講せずに、即座に在宅での受講に切り替えることが出来るようになりました。

コロナ禍でなければこのようなスタイルに移行することは到底考えられなかったことですが、時代や社会に合わせて柔軟に対応することの大切さを、身をもって体験しました数か月でした。

コロナの影響で、3月に予定しておりましたスピーチ大会が延期となりました。この会はあすなるの理念である「学校英語から使える英語への橋渡し」の一翼を担う企画です。あすならとしましては、やむを得ない理由での不参加以外は、極力出席して頂くように常々お願いしておりましたが、

その理由は毎回参加される生徒さんの成長が私どもの予想を遙かに超えるほど著しかったからなのです。コロナ禍とはいえ、この企画がまだ実現出来ていないことは非常に残念でなりません。そこで、日時は未定ながら、オンラインでのスピーチ大会を現在企画中です。

そして、学院生の皆さんの実践的な学びの機会を他の形でつくり出そうと考え、新たな企画を導入いたしました。それが次のページに掲載しております「東欧チェコ・プラハ在住のピアニスト・ウラニアさんとあすなる学院生の交流」です。現在、主に高校生・大学生・大人のクラスの方が、Eメールを通して今持てる英語力を最大限に駆使し、双方向でのコミュニケーションを展開しております。

また、実際に英語を駆使して活躍中の社会人が、どのようにして英語力を培い現在のキャリアを築いてきたかを知る機会として「現役ビジネスマンからの手紙」「現役エンジニアからの手紙」もホームページにて連載いたしました。

英語は一教科としてテストのために勉強するべきものではありません。社会に出て多くの異なったバックグラウンドを持つ様々な人と交流をし、自由闊達に意見交換をして視野を広くし人生を豊かにするためのツール。それが語学なのだと思います。そのことを日常生活の中で知る機会を出来るだけ多く提供していきたいと思っております。コロナの影響を受けることはあっても私たちの歩みは止めることなく、明るく前向きに進んで行きましょう。

英語文化学院あすなる
学院長 岸田京子



パソコン画面上の
オンライン授業風景。
あすなるのレッスンは
楽しく厳しく！



東欧チェコ・プラハ在住のピアニスト ウラニアさんと あすなる学院生との交流

あすなる学院生の皆さんが学習した英語を実際にコミュニケーションツールとして使う喜びを感じられる機会を設けたいという岸田学院長思いから、学院長の旧友であるプラハ在住のギリシア人ピアニスト、ウラニア・ミネラウさんと高校生以上の学院生とのEメール交流を企画しました。2020年の春学期、ウラニアさんの最初のメール（あすなるニュースレターHP版に掲載／下記）を読んだ生徒さんたちからウラニアさんへ質問する形で始まった文通。本当に温かい心の交流が生まれています。今回はその中から「挫折感を味わった後、自分を変えるきっかけとしてバンジージャンプをしてみたい」という大学生のケンヤ君と自らの経験に照らし合わせてその挑戦が人生に意義のある事だというウラニアさんのやり取り。そして、子供を育て上げた今、心中に去来する事を綴られたYさんと心温まる交流を。

Kenya 僕はバンジージャンプをしたいと思っています。それは別段役に立つ事ではないと思います。でも、僕は人生の中でなかなか経験できないことをしたいのです。あなたはなにかしたいなあと思っている事がありますか？

Ourania ケンヤ、質問をありがとう。日常とはかけ離れた特別な事をしたと願うのはワクワクしますね。

私の場合いつも空を飛ぶたいと思っています。飛ぶ事が好きです。一番飛ぶ事と近い感覚が飛行機に乗っていたときにありましたが、ある日私は二人乗りの小さな飛行機の乗り方を学ぶことに決めました。そうすると決めるまでには、本当にそれができるようになるのか、今では年齢的に遅いのではないかと、多くのことを考えました。でもある日インストラクターとセスナ機の操縦席に座っていました。夢を叶えたのです。本当に文字通り天国にいるみたいでした。夢を見るだけではなく実際に、とうとうやったぞという思いは、今まで生きて中で最高の感覚でした。ライセンスはまだですが、いつかとれると思います。

私が飛ぶ事を学ぶのはなにかに使えるというわけではなく、それができるようになりたいという純粋に情熱に突き動かされただけなのです。私が夢を実現した瞬間は、人生でなにか「役に立つ」事をやっていく上での自信と強さを与えてくれると思うのです。夢は私たちの生活を豊かにして、人生の道を歩ませます。

是非、バンジージャンプをして下さい！ それは結局は貴方の人生に有用なものとなるでしょう。私たちが愛するものはなんでも人生で役に立つものなのです。

幸運をお祈りしています。バンジージャンプの瞬間を楽しんでください。



プラハ在住のピアニスト、ウラニア・ミネラウさん

ウラニアさんからあすなるの皆さんへのメッセージ「プラハからの便り」をぜひご覧ください。ホームページに掲載中です。

英語原文 <https://www.asunaro-english.jp/newsletter/voice/2263>

日本語訳 <https://www.asunaro-english.jp/newsletter/voice/2311>

原文 (英語)



訳文 (日本語)



Kenya こんにちは。お返事をありがとうございます。とても感銘を受けました。改めて、夢を見る事の大切さとパワーに気付かされました。

僕は大学受験に失敗してからというもの、夢を追う気になかなか出来なかったのです。でもやってみたい事を見つけました。それがバンジージャンプなんです。そして僕は、もっと大きな夢も見つけないと思っています。やりたい事を見つけ、そしてそれに向かって大学でしっかり学んでいこうと思っています。

あなたの夢も素敵だなと思いました。とても楽しそうだし、未来を支える大きな力が湧いてくるような気がします。もし機会があれば空を飛んだ感想を聞かせてください。あなたの夢が叶って、大きな力となりますように！

次は、大人のクラスYさんとウラニアさんの心温まるやり取りです。

✉️ アジア人の私にとって、ヨーロッパはとても遠くあこがれの場所です。私はいつか地中海を訪れたいと願っていますが行くのは簡単ではありません。アジアもまた私にとっては素晴らしい場所です。あなたはアジアについてどんなイメージを持っていますか。日本についてどんな印象を持っていますか。

✉️ 私にとって、アジアそして特に日本はあこがれの場所です。わたしはあなたの国のことをドキュメンタリー番組や写真でしか知りません。そして日本の美しく他にはない自然に感銘を受けました。プラハにはとても大きな植物園があり、その中に日本庭園が造られており、園の中で最も美しい場所となっています。ラッキーなことに私は植物園の近くに住んでいるので、月に何度も植物園を訪れることができます。そして日本庭園の盆栽や流れる水、風景を見て過ごす時間を楽しんでいます。そこは平和のオアシスでありくつろぎの場所です。

また、私は子供の頃、異なる国々の神話を多く読んだものです。そして、アジアの神話は私にとってとても魅力的でした。ギリシャ神話とはたいへん異なり、とても遠い国の話であり私の想像力をかきたてました。いつの日かあなたの国を訪れ、以前何度も心の中で訪れた場所を見る事が私の夢でした。そして今もその夢を持っています。

多くの人々にとって日本といえば、何百万もの人々がとても忙しく暮らす巨大都市東京です。私にとって日本は写真で見た美しい自然と、アジアの神話を読んで心に描いたイメージの国です。



✉️ こんにちは、ウラニア。お返事をありがとうございます。なんだか外国の友人から手紙をもらったような気分であれしくてウキウキしました。私の質問にととてもいねいに答えてくださって感謝します。

私は貴女がとてもうらやましいです。あなたは、音楽を学び、愛することに人生を賭けてきたのですね。多くの方が多分そうであるように、私は人生を通して学び続けたいものをなにも持っていないのです。とても残念なことだと思っています。若い頃はなにも深く考えずに過ごしていた気がします。今、50歳を過ぎて若い頃にもどりたと思っています。そしてなにか熱中できる事を見つけないのです。ひとつだけ言えるのは、子育てにはずっと没頭してきたという事です。でも子育てはいつか終わりがきます。そしてその後は思い出の中に生きるしかありません。

プラハには美しい植物園があると知りました。貴女のお返事を読みながらその美しい庭園を想像してみました。日本には三大庭園と呼ばれる庭があるのですよ、残念ながら私はそのどれからも遠く離れています。もし貴女が私の街を訪れることがあったら絶対にお見せしたい風景があります。日本では4月にとても美しく桜の花が咲き乱れるのです。私の街には芦屋川という川があって、その川沿いの桜の花が満開になると本当に美しい風景が展開されるのです。川の上流の六甲山のふもとに緑が見え、川沿いの桜の花は薄くてやさしいピンクの色に咲きほこります。そして青い空と白い雲、本当に美しく幸せな気分になります。人々は桜の木を見に来て皆とても幸せそうです。私はこの風景を毎年見られることに感謝しています。

心をこめて、
Y.

